

令和 6 年度

海上保安協力員の活動推進事業

海上保安協力員連絡会議報告書

令和 7 年 3 月

公益財団法人海上保安協会



## 概 要

### 1. 海上保安協力員連絡会議開催状況

令和 6 年度は、各地方本部及び支部において、別紙「会議開催支部・地区一覧」のとおり、全国 58 の海上保安協会支部・地区で会議を開催し、各海上保安協会地方本部・支部職員その他、273 名の海上保安協力員、317 名の海上保安部署職員（管区本部職員を含む）の参加を得て、各支部における海洋環境保全・海上防犯等の現況の説明、海上保安協力員からの活動状況の報告、海上保安協力員の活動全般にかかる意見交換等を実施した。

今年度の連絡会議については、以下のとおり、各地方本部及び支部において、様々な工夫を凝らして開催し、海上保安部署職員のほか、巡視船艇乗組員（現場業務に従事する海上保安官）との強固な一体感が醸成され、以後の海上保安協力員の活動について一層の連携強化が図られた。

(1)毎年度、会議出席者から「海上保安庁の資機材や海上保安官の業務等が良く理解出来る。」と好評を博している巡視船艇における船内会議と、管轄区域内の要注意海域（沿岸部）の哨戒業務に同乗、見学した。

(2)臨海部大規模企業に所属する海上保安協力員の提言を受け、同社内において会議を開催、従来の海上保安部署からの業務説明及び連絡事項伝達のほか、同協力員による日頃の海域監視状況のほか、不審事象や特異事象発見時における証拠保全手段や通報体制等現状について説明を受けた。

(3)離島等の特殊事情が存在する海上保安部署においては、ひとたび事案が発生した場合は取締り関係機関が一体となって対応する必要があることに着目、全国初の試みとして、海上保安部署職員のほか島内所在警察署の警察官及び税関職員の出席を得て、各機関の特色のほか機関相互の連携、協力体制等について説明を受け、理解を深めた。

### 2. 海上保安協力員の活動状況

令和 6 年度は、当協会沖縄地方本部と全国 108 の支部に配置された合計 728 名の海上保安協力員の活動回数が延べ 11,848 回を数え、これら海上保安協力員からの不審事象等にかかる通報件数は合わせて 589 件、うち検挙に結びついた通報件数は 13 件であった。

令和 6 年 1 月 1 日、石川県の能登地方で最大震度 7 の地震が発生し、多数の家屋等が倒壊、一部は海上へ流出する事態が生じたため、震源地から南西

沿岸に配置された海上保安協力員は、同地域コミュニティセンター職員、定置網漁業者のほか、地元子供会等と協力して海岸清掃を実施し、大小漂着ゴミ約 110 キログラムを回収した。また、同地方では 9 月に集中豪雨にも見舞われ、再びゴミ等の海上流出が懸念されたため、同地方沿岸部に配置された協力員は定期巡回の頻度を増やし、海岸への漂着物等の調査・監視に当たった。

海上保安庁の発表によれば、令和 6 年の海上犯罪の発生件数については、3 年連続で 7,000 件を超える水準で推移しており、引き続き「あわび」「なまこ」「雌かに」などを違法に採捕・所持・販売する事犯が依然として後を絶たない。さらに、沿岸部において大量の家庭ゴミや広告紙を不法に投棄する事案や、不法無線局を開設する等の電波法違反、無登録で対価を得て釣り客を輸送する遊漁船業の適正化に関する法律違反も発生している。

海上保安協力員は、管轄の海上保安部署と連携を強化し、海洋環境保全推進活動等のほか、これら犯罪の未然防止や早期発見通報及び捜査協力に当たった。

#### (1) 検挙に結びついた通報の事例

- ・ 令和 6 年 9 月、和歌山県有田郡唐尾湾の海岸で、海上安協力員が防犯活動巡回中、大量の魚貝類を採捕している者を認めたため、管轄の海上保安部へ通報、監視を継続した。その後、海上保安官が臨場、確認した結果、漁業権侵害及び禁止対象魚貝類の採捕が判明、漁業法違反及び和歌山県漁業調整規則違反として検挙、送検するに至った。
- ・ 令和 6 年 11 月、長崎県対馬厳原市浅茅湾で、経年劣化し老朽著しい複数船舶が放置されているのを発見したため、管轄の海上保安部へ通報、海上保安官が臨場のうえ各船の状況を詳細に調査して所有者を割り出し追跡調査した結果、1 隻を廃船と認定、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律違反（廃船の不法投棄）により検挙、送検するに至った。
- ・ 令和 6 年 12 月、鹿児島県肝属郡大隅町立目崎付近を海上保安協力員が防犯活動巡回中、同崎沖合を航行する一般船舶の船橋に人影が見当たらなかったため、管轄の海上保安部署に速報するとともに、同船の動向を継続監視した結果、間もなく臨場した巡視艇により同船を捕捉、海上保安官の立入検査により、当直者の居眠り運航が明らかとなったほか、航海日誌の不記載、雇入契約に係る届出義務違反及び船内安全・衛生に係る事項の不遵守が発覚したため、いずれも船員法違反として検挙するに至った。

- ・ 令和 7 年 3 月、兵庫県加古川市別府町所在の船だまりにおいて、巡回中の海上保安協力員が海上浮流油を発見したため、直ちに管轄の海上保安署に通報するとともに、海上保安署からの要請を受け、同浮流油を注視するなど捜査に協力した結果、同海上保安署の捜査官が臨場し、その後の捜査により、過失による船舶からの油排出が原因と特定され、被疑者を「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律違反」として検挙、送検するに至った。

## (2)その他の通報の事例

- ・ 令和 6 年 4 月、海上保安協力員が勤務する茨城県鹿島市大洗港の長距離フェリーターミナルに、フェリー船内における暴行事件発生通報があったことから、直ちに管轄の海上保安署へ通報、同海上保安署からの現場保存及び目撃者等関係者の待機指示を受けこれを中継した。その後、同フェリーの入港を待って海上保安官が乗船し関係者からの事情聴取等捜査した結果、些細な原因による喧嘩と判明、加害者を暴行罪として検挙した。
- ・ 令和 6 年の台風シーズンを中心に、静岡県静岡市清水区に所在し海上保安協力員が勤務する通信社監視室において、日常業務に併せ、継続して海上監視に当たり、荒天難航していると見られる船舶や反復して外国貨物船に異常接近するプレジャーボートに関する情報を管轄の海上保安部に速報、その都度巡視艇により確認し指導等がなされた。

## 3. 海上保安協力員に期待される活動

海上保安を巡る最近の情勢等を踏まえ、安全・安心な社会の実現を目指して、海上保安協力員に特に期待される具体的活動は次のとおりであり、海上保安部署の協力・助言の下、引き続き各地域に密着した活発な活動を展開してゆく。

### (1)海上防犯関係

- ・ 2025 年（令和 7 年）4 月から 10 月にかけて、184 日間にわたり大阪湾夢洲（人工島）において「2025 日本国際博覧会（通称：大阪・関西万博）」が開催され、開会式等セレモニーへの内外要人の出席が予定されるほか、会場には船で訪れる来場者用向けとして船着き場「夢洲浮棧橋」が設置され、海の玄関口となって大阪市内や堺、神戸、淡路島などとの 5 航路が就航する。加えて、周辺海域においては航行制限等を含む大規模な警備体制が敷かれることから、管轄の海上保安部署及び関係する海上保安部署と連

絡を密にし、不審事案発生時の速報体制を維持するなど連携・協力して、  
周辺海域における治安と安全の確保を図る活動

- ・ 全国各地で発生している密輸・密航事犯や、沿岸・沖合を問わず行われる密漁事犯、さらには、海洋への家庭ごみ等の廃棄物の不法投棄等、様々な犯罪の未然防止とこれらの早期発見・通報につながる活動

## (2)海洋環境保全関係

- ・ プラスチックごみ対策が地球規模の課題となっている現状に鑑み、各地域の実情を知悉している利点を生かして、海上保安部署等との協働による海浜清掃を実施するなど、海洋環境保全につながる実践的な活動
- ・ 園児、児童等を対象に、環境絵本及び環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」の活用や、海上保安庁イメージキャラクターを活用するなど、趣向を凝らした海洋環境教室を開催するなど、未来を担う子供たちの海洋環境保全意識の高揚につながる啓発活動

## 会議開催支部・地区一覧

(開催日順に記載)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 衣浦支部        | 30 比田勝支部       |
| 2 宇和島支部       | 31 香川支部(小豆島地区) |
| 3 沖縄本部(名護地区)  | 32 香川支部(坂出地区)  |
| 4 四日市支部       | 33 三池支部        |
| 5 門司支部        | 34 木更津支部       |
| 6 福山支部        | 35 三河支部        |
| 7 山形県支部       | 36 青森支部        |
| 8 門司支部(苅田地区)  | 37 釜石支部        |
| 9 岩国支部        | 38 唐津支部        |
| 10 今治支部       | 39 沖縄本部(中城地区)  |
| 11 苫小牧支部      | 40 長崎支部        |
| 12 千葉支部       | 41 香川支部(高松地区)  |
| 13 名古屋支部      | 42 熊本県支部       |
| 14 下田支部       | 43 宮城支部        |
| 15 鳥羽支部       | 44 松山支部        |
| 16 宇部支部       | 45 仙崎支部        |
| 17 玉野支部       | 46 堺泉北支部       |
| 18 八重山支部      | 47 茨城支部        |
| 19 水島支部       | 48 銚子支部        |
| 20 清水支部       | 49 東京支部        |
| 21 鹿島支部       | 50 佐渡支部        |
| 22 大阪支部       | 51 上越支部        |
| 23 新居浜支部      | 52 釧路支部        |
| 24 下関支部       | 53 金沢支部        |
| 25 洞海支部       | 54 田辺支部        |
| 26 宮城支部(石巻支部) | 55 尾道支部        |
| 27 東播磨支部      | 56 唐津支部(伊万里地区) |
| 28 気仙沼支部      | 57 五島支部        |
| 29 横浜支部       |                |

## 書面会議開催支部・地区一覧

- 1 小樽支部